

地域から多文化共生を推進しましょう

最近、様々な国籍の人が東京の各地域に住むようになりました。20年後の2040年には、都内の10人に1人が外国人になる、とも言われています。これからの地域においては、様々な人々が一緒に安心して生活できるようになることが必要であり、そのような社会を「多文化共生」社会と呼んでいます。

※都内の在住外国人：57.7万人（総人口の約4%）、194の国と地域（令和2年1月1日現在）

こんな風に思っていないですか？

英語も中国語も話せないし・・・

生活ルールが違うし、
関わるとトラブルになるのでは・・・



違う国から来た人と話すのは、
ちょっとこわいな・・・

確かに、国によって言葉や習慣が違います。

でも、同じ住民として、地域で気持ちよく暮らしたい思いは一緒です。

外国人には若い人も多く、地域社会を盛り上げる大きな可能性があります。

じゃあどうすればいいの？

1! まずは話しかけてみましょう

外国語ができなくても大丈夫！

まずは「やさしい日本語」で話をしてみましょう。

「やさしい日本語」とは？

単語を言い換えたり、少し工夫をすることで、分かりやすくしたものが「やさしい日本語」です。日本にはたくさんの外国人が暮らしていますが、その多くが簡単な日本語を理解できると言われています。優しい気持ちで易しい日本語を使うことで、外国人だけでなく、小さな子どもやお年寄り、障害のある人ともよりよいコミュニケーションを図ることができます。

(例) 禁煙 → たばこはすえません 土足厳禁 → くつをぬいでください
可燃ごみ → 燃^もやせるごみ 再利用 → くり^{かえ}返し^{つか}う

2! ルールなど、分からないことは
どんどん教えてあげましょう

様々な人々がお互いに認め合い、
助け合う地域社会をつくきましょう！！

